

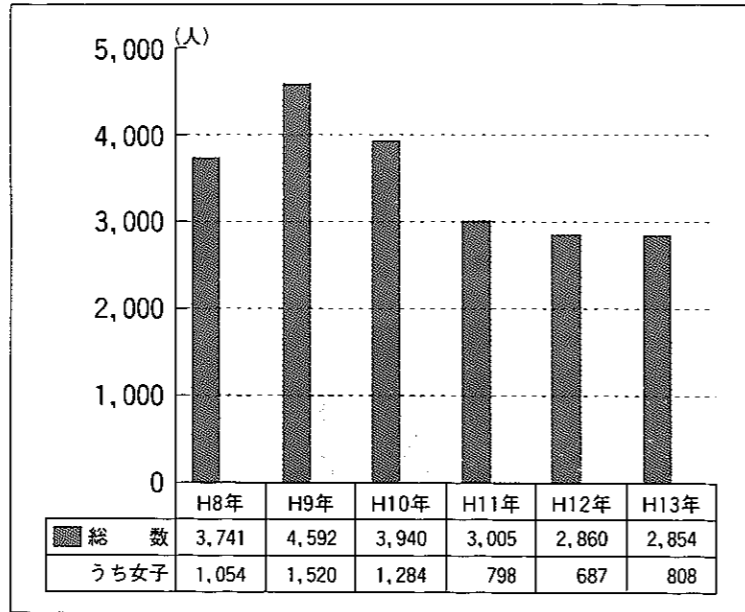
刑法犯・特別法犯少年の検挙・補導状況

区 分	H13年	H12年	増 減
刑 凶 悪 犯	41	36	5
刑 粗 暴 犯	329	388	△59
法 窃 盗 犯	1,937	1,884	53
法 うち万引き	1,332	1,217	115
犯 その他	547	552	△5
小 計	2,854	2,860	△6
特 別 法 犯	54	52	2
合 計	2,908	2,912	△4

学職別少年の検挙・補導状況

区 分	H13年	H12年	増 減
学 小 学 生	120	135	△15
生 中 学 生	670	737	△67
徒 高 校 生	1,535	1,358	177
有 所 他	107	122	△15
職 少 年	203	251	△48
無 職 少 年	273	309	△36

新潟県内の刑法犯少年の推移



深刻な少年犯罪

昨年新潟県で検挙・補導された刑法犯少年は二千八百五十四人（前年比六人減）と四年連続で減少していますが、全国で見ると四十七都道府県中十五位と高水準です。

平成十三年中の凶悪犯（殺人・強盗・放火・婦女暴行）は四十一人と前年に比べ五人（一二・九％）増加し、内訳は強盗三十人、放火九人、婦女暴行二人でした。

一方、粗暴犯（傷害・恐喝など）は前年に比べ五十九人（二五・二％）減の三百二十九人。内訳は恐喝百四十五人、傷害百三十八人、暴行四十六人でした。

このほか、出会い系サイト・テレホンクラブの利用に伴う犯罪が増加しており、出会い系サイトの検

挙数は二十三件（前年比二十一件増）、テレホンクラブは十六件（前年比三件増）とそれぞれ増加しています。

少年非行を学職別で見ると、高校生が一千五百三十五人（前年比百七十七人増）と大幅な増加で、少年全体の過半数を占めたものの、それ以外の小・中学生などがすべて減少しました。

また、成人を含めた刑法犯全体でも少年が過半数を占めており、少年犯罪の深刻さをうかがえる結果となりました。

ふれあいと対話が築く明るい社会

犯罪と非行が生まれるのは地域社会です。また、罪を犯した人や非行をした少年の更生を果たす場

も地域社会です。更生を有効なものにするためには、本人の意欲と併せて、本人を取り巻く地域社会の理解と協力が不可欠です。

近年、少年による凶悪重大な事件が相次ぎ、また、いじめ、不登校、ひきこもり等が大きな社会問題になっていきます。急速な社会変化の中で、地域社会の機能が弱体化し、住民同士のふれあいや親子の対話が減るなど、地域社会や家庭が持つべき犯罪防止力や教育力が低下したことが背景にあると考えられます。

学校をはじめ、関係機関・団体との連携を推進し、地域に根ざした、だれもが参加できる幅広い活動を展開し、大人も子どもも夢や希望を持って、支え合って生きていける明るい地域づくりに参加することが大切です。



第52回社会を明るくする運動

犯罪や非行のない明るい社会を

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるとともに、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

今年も「ふれあいと対話が築く明るい社会」を統一標語に全国各地でさまざまな行事が行われます。白根市でも7月20日祝日に白根学習館ラズベックホールで「社会を明るくする運動・青少年健全育成市民大会」が開催されます。どなたでも参加できますので、ぜひお出掛けください。

お出掛けください

青少年健全育成市民大会

社会を明るくする運動市民大会

- とき 7月20日祝 午後1時30分～
- ところ 白根学習館ラズベックホール

大会 日程

- 13:00～ 受け付け
- 13:30～ 開会
中学生の主張
「わたしの主張 白根市大会」
- 15:00～ 「青少年健全育成」市民大会
「社会を明るくする運動」市民大会
- 16:00 閉会